国際津波・地震フォーラム
～兵庫行動枠組の進捗状況と津波・地震災害からの復興～
国際シンポジウム

インド洋津波災害及び国連防災世界会議から2年が経過し、阪神・淡路大震災から12年を迎える2007年1月15日・16日の両日、津波・地震からの復興をテーマに、国連防災世界会議において、国際社会における今後10年の防災活動の指針として採択された兵庫行動枠組に沿った防災活動の進展について国内外の防災関係者による情報・意見交換を行う「国際津波・地震フォーラム～兵庫行動枠組（HFA）の進捗状況と津波・地震災害からの復興～」を開催します。

15日に開催される一般公開の「国際シンポジウム」では、自然災害の経験や教訓、復興過程における災害に強い国づくりについて、情報共有や知見の交換を行うとともに、兵庫行動枠組のさらなる推進のための国際協力を展望します。

なお、16日には、津波・地震被災地の復興状況の検証を行うとともに、よりよい復興を成し遂げるための具体的な方策を探るため、「住宅復興」、「生活復興」及び「復興における組織体制」という3つの分科会と、全体討議からなる「専門家会合」（一部英語のみ）を開催します。

- **日　　程**：平成19年1月15日(月)：国際シンポジウム（一般公開）＜16日(火)：専門家会合※＞
- **会　　場**：神戸国際会議場（兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1　TEL：078-302-5200）
- **主　　催**：IRP事務局、日本政府(内閣府、外務省)、兵庫県、アジア防災センター、国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国連開発計画(UNDP)、国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)、国際労働機関(ILO)、世界銀行、国際赤十字・赤新月社連盟、国連人間居住計画(UN-HABITAT)
- **後　　援**：ユネスコ(UNESCO)、国連環境計画(UNEP)、国際協力機構(JICA)、国際防災・人道支援協議会(DRA)、アジア防災・災害救援ネットワーク(ADRRN)、NHK他
- **使用言語**：日英（同時通訳有り）
- **国際シンポジウム　プログラム**（予定）

10:30～11:10　開会挨拶
- 溝手 顕正　防災担当大臣
- 岩屋　毅　外務副大臣
- 井戸 敏三　兵庫県知事
- ジョン・オヒロヘニュアン　UNDP次席総裁補、危機予防復興支援局上級次長
- サルバノ・ブリセーニョ　ISDR事務局長

11:10～11:20　ビル・クリントン　国連津波特使、前アメリカ合衆国大統領ビデオメッセージ

11:20～12:00　基調講演
- マリボンヌ・プレシ・フレサール　世界銀行　交通・都市開発局長

12:00～14:00　昼　食

14:00～15:20　津波・地震復興報告
インド、インドネシア、パキスタン、スリランカの閣僚級

15:20～15:40　インド洋津波警戒体制の整備状況報告
- パトリシオ・ベルナール　ユネスコ政府間海洋学委員会事務局長

15:40～16:00　コーヒーブレイク

16:00～17:30　パネルディスカッション「HFAの進捗状況と災害からのより良い復興」
ファシリテーター：サルバノ・ブリセーニョ　ISDR事務局長
パネリスト：　内閣府、アジア防災センター、UNDP、UN/OCHA、ILO　他
コメンテーター：　各被災国代表、世界銀行、イアン・デービス　英国クランフィールド大学客員教授

17:30　閉　会

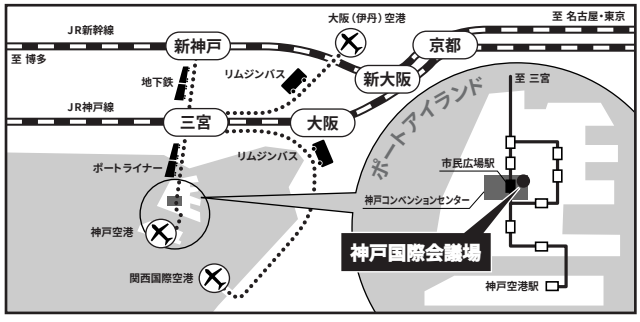
【参 加 費】無料

【定　　員】250名

【申込方法】申込用紙にご記入の上、FAXか郵送、またはE-mailにて下記あてにご連絡ください。

【問合せ先】「IRP（国際復興支援プラットフォーム）事務局」
〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
ひと未来館5F
FAX：078-262-6046
E-mail：irp-event@recoveryplatform.org

＜※16日の専門家会合にご関心がおありの方は、事務局までお問い合わせ下さい。＞



ポートライナー市民広場駅から徒歩3分

1月15日（月）国際シンポジウム申込用紙

■ **お名前（フリガナ）**

■ **ご職業（会社名、学校名など）**

■ **ご住所（郵便番号とフリガナ）〒**

受付は終了致しました。

■ **電話番号**

■ **ファックス番号**

■ **電子メール**

注：登録確認の通知はいたしておりません。日時の変更または定員に達してご参加いただけない場合にのみ、IRP事務局よりご連絡させていただきます。当日はこの申込用紙を受付にてご提示ください。また、駐車スペースはございませんので、当日お車でのご来場はご遠慮ください。